

今回は薬とはまったく関係のないお話になります。

## お山の話

12月のある夕方、富山市北部にある岩瀬浜の砂浜に立つ。目の前には夕陽を浴びた立山連峰が雲ひとつ無く松林越しに見える。雪で覆われた山々だが、今年の夏、縦走したコースを目で追うのも楽しい。

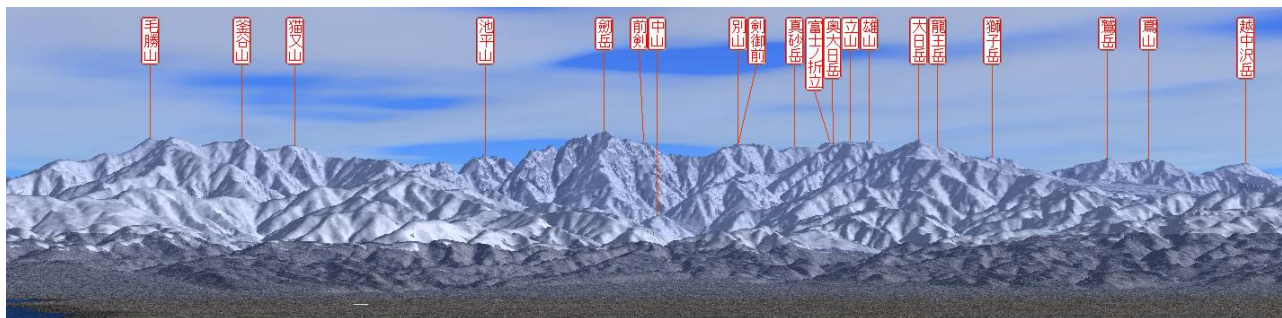


山歩きは私の唯一と言ってもよい趣味だろう。あえて登山と言わないのは年齢的に無理をしないことを自分に課しているためでもある。ところで山に登って気になるのが遠くに見える山はなんという名前の山だろうか？実は登ったことのある山かもしれない？・・・ということ。

そこで役に立つのが「カシミール3D」という山ガイドソフトだ。杉本智彦氏著の本（定価2400円）ではあるが、そこに添付されたDVDをパソコンにインストールすると地形図の山々がなんと**立体的に浮き出してくる**すぐれモノである。山のシチュエーション、年月日、雲の形・標高、雪の標高、山座表記(レベル別)などを自分で設定をしてからプログラムされたカメラ(2種類ある)で撮影するのだ。風景画のみならず登山ルート断面図も描ける楽しいソフトだ。

私はこれを利用してよく**山座同定**をして先ほどの疑問を解決している。山の細かいところは等高線に反映されないためか現実とは異なってくる(たとえば槍ヶ岳の本峰は表示されるが、小槍が表示されないなど)。しかし遠景だとかなり写実的に表現されるので同定するには困らない。また低い山や無名の山だとこのソフトに登録されていないので、その山を自分で登録しておく画面に表示されてくる(下記例では中央の中山)。実はこの低い山も平地から見えていたのだということなどが分かる。

試しに上の写真とほぼ同じ位置でカシミールを設定すると下記のようなソフト上の写真が撮影できあがる(山名は小さくなり過ぎて判然としませんが)。



地図の上では木々や建物がないので、カシミールの画面では山の麓まで遮るものがなく映りこんでくるが、山の形はほぼ現実の写真通りだと分かって頂けるだろう。

(おわり)